



MediaDoKageyamaRacing

参加台数 32台

8月3日 DUNLOPF4トレーニング3本

8月4日 OTG F4トレーニング3本

8月5日 予選(30分間)1stタイム：8位 2ndタイム：8位

第1戦決勝(15LAPS)：8位

8月6日 第2戦決勝(15LAPS)：6位



～木曜日～

ドライ

11位・4位・8位

1本目74キロタイヤ

日曜日にドリフト競技をやっていたこともあり、路面が悪くとてもグリップレベルが低かったです。セクター1.3はトップとタイムが変わらなかったですが、セクター2だけ遅れていました。原因はヘアピンと考えています。とてもリアが出やすかったので、走行後にリアのキャンバーを0.2度つけました。

2本目59キロタイヤ

Aコーナー、100R、ヘアピン、13コーナーの出口でアンダーステアを感じました。走行後にリアキャンバーは戻した方がよく、コーナー入り口でもっとしっかりとフロントが入って欲しかったのでリアスタビをホール5（最柔）からホール3（真ん中）に変更しました。

3本目44キロタイヤ

セット変更により2本目で気になっていたコーナーのアンダーステアが解消され、非常に走りやすかったです。しかし、まだセクター2に課題がありAコーナーとヘアピンの出口を解決しないとイケません。周りがNewタイヤで走っている中でのタイムでした。

～金曜日～

ドライ

7位・6位・13位

1本目Newタイヤ

明日の予選とほぼ同じ時間という事もあり、予選シミュレーションを行いました。セクター3はとても速かったですが、1コーナー、Aコーナー、100Rの向きが変わりにくかったです。そのため2本目に向けてはリアウイングを1ホール減らし、リアの車高を1mmあげる事にしました。

2本目Newタイヤ

Newタイヤでのフィーリングは良かったです。トップタイムとの差もコンマ2と詰まって来ましたが、セクター2で後コンマ2詰められるように…なんとかします。

走っていくに連れてタイヤのピークが過ぎるとオーバーステアが強くなってきたのでレース1は1本目のセットで進めていきます。

3本目70キロタイヤ

1本目のセットに戻し走行しましたが、気温や路温も高く、オーバーステアが強かったです。途中でリアウイングをもう1ホールつけて走行しました。セクター2の課題であるAコーナーに対して色々な事が試す事が出来ました。レース2の気温や路温にもよりますが、現時点ではタイヤの消耗に対してリアウイングと車高で対応していく予定です。

～予選～

ドライ

予選前半はポジション取りに苦戦していました。今まで（過去の富士のレース）以上にスリップを使うための譲り合いが激しく、少し下がってもまた前の方の車両もスローダウンして結局スペースがなくなってしまう事が多かったです。後半にはきちんとスペースを作ってアタックが出来ました。Newタイヤを履くとアンダー傾向になることをリアウィングを寝かし、リア車高を1mm上げましたが、昨日まで速かったセクター3がオーバーステアにより遅くなってしまいました。そのためにトップとのタイム差が開いてしまいました。その部分がとても悔やまれます。セットに関しては僕が決めたので反省しております。



予選結果： 第1戦スタート8位
第2戦スタート8位

第3戦 ドライ

スタート自体は良かったものの、1コーナーでの位置どりの悪さから流れを崩してしまいました。展開が落ち着いてからはペースも悪くなく順位を戻していけましたが、去年の様なレースをしてしまいました。申し訳ございません。たとえ1コーナーで位置どりが悪くとも、すぐに切り替えてそこから攻められる姿勢に変えることや、自分にとってそこが勝負の場所なのかをもっと早く見極めていけるようにします。

決勝結果：8位→8位



第4戦 ドライ

スタートで1つ順位を上げ、その後は4位争いの集団に絡めていましたが最終的にもう1台抜いた所でレースを終えました。

決勝前半はペースを上げられず、集団について行くのが一杯一杯でした。中盤からはペースも上がったために抜くことが出来ました。しかし、今回チャンスが多かった事もあり自分自身苦しい状況でももっと攻めていけるようにならないといけません。

今大会でやっと2レースともポイント獲得出来、厳しい流れを変えられたと思います。鈴鹿までに自分の限界をしっかりとあげていきます。

決勝結果：8位→6位

～まとめ～

今回の富士ラウンドはトレーニング走行ではきちんと登り調子でこれました。しかし、予選でセットを外してしまった事やレース1での1周目に順位を落としてしまった事が大きな反省点です。トレーニング走行時にずっとトップから遅れていた部分を意識し過ぎてしまい、全体ベストを出せていた区間が遅くなって順位を下げてしまいました。バトルがしやすい富士とはいえ、そのコンマ2がとても大きかったです。また決勝に関しては今年に入って初めて去年のような1周目に順位を下げるレースをしてしまいました。自分自身とても悔やんでおります。

今回の富士大会では、予選・決勝ともに非常に悔いの残る部分を多くしてしまいました。悔いをきちんと反省に変え次戦ではまた同じ事をしないようにします。

いつも応援・サポートして下さりありがとうございます。また次戦も宜しくお願い致します。

篠原拓朗



M's Auto
Mobile Service



PLAT2



SS StarFive
Motor Racing Store

MAKE
WINNER

ROBA
Driving School

PROTEX

